

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

- 1、施設名： 有限会社 グッドライフ グループホーム アウル
- 2、施設種類： グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設（該当するものに ）
- 3、日 時： 平成19年 10月 31日（土） 14時00分～15時30分
- 4、会 場： グループホーム アウル
- 5、出席者：

区 分	人 数	区 分	人 数
利用者代表	0名	有識者	0名
利用者の家族	1名	市役所職員	1名
地域住民の代表	2名	事業所職員	4名
その他職員	0名		

6、議 題：

今回の運営推進会議は、自衛消防訓練を見学していただいています。

（全体を通じての結果）

今回は、ホーム内での自衛消防訓練を行い、見学していただくと共に、自衛消防訓練の実施回数、ホームの設備などの説明を行う。

（意見・感想・質疑）

地域住民の方々、ご家族代表の方々、市役所職員の方からの感想を頂く。

地域住民の代表

以前、仕事をしていた頃、立ち寄った先でお客様とお話をしていると調理中の油の入った鍋から、突然火柱が上がり消火活動をしたことを鮮明に覚えていまして、その時消火器を使おうと思ったのですが、消火器が古い為、ピンが抜けなかったことがあり、鍋に座布団をかぶせその間に消火器のピンを抜き、消火できました。

話に聞くと、半年に一度程度、消火器内の粉末が固まらないよう、上下に振ることも必要だと聞きました。

地域住民の代表

意外とベルの音が大きかったので、音を聞いただけでもパニックになってしまうような気持ちになりました。

実際の火災では、火や煙も起こりますので、日々の訓練が落ち着いて対処できることに繋がるのだと実感しました。

利用者の家族

先日、家の外から5メートル先に何かが燃えているようにみえたため、火災だと思い慌てて119番通報しましたが、良く見ると近所の方がゴミを燃やしていることに気がつきました。火を見ると自分自身がパニックになってしまいよく状況を確認せず、行動に出てしまいます。そのときも他に燃え移る危険性があったので家から消火器を持って、消火活動をしようとしたが火を消すことばかり考えてしまい、風下から消火器を使用し粉末が全て自分のほうに飛んできてしまうということがありました。

以前働いていた職場でも自衛消防訓練を行ってきましたが、突然のことになるとパニックになってしまい頭が真っ白になってしまいます。又用具室内に置いてあったカップに火がつき火災になったときはスプリンクラーが作動して燃え広がらずに消化できたこともあります。

火災を直接目にしてしまうと、自分の中で安全なところへ避難しようとしてしまい、炎の見えない場所へ行ってしまいう事もあったので避難誘導の際には気をつけてください。

市役所職員

夜勤もあるお仕事なので、夜勤の場合はもっと大変だと思われます。やはり日々の訓練の積み重ねにより実際に火災が起こったとしても冷静に対応できると思います。

アウルより

今後も、消防訓練を繰り返し、地域住民の方々にも参加していただき、災害時に備えてたいと思います。

次回の運営推進会議は12月2日日曜日に開かれる、もちつき家族会の予定となっています。又12月15日土曜日にクリスマス家族会も開かれることを伝え、また改めてご連絡することを伝えています。

他、質疑等なく閉会とする。